



杉並学院高校の生徒の皆さんへ

本日上演する作品

フラガール

2006年に公開され、日本アカデミー賞最優秀作品賞などを受賞した映画を原作とする舞台です。

昭和40年代の福島県いわき市を舞台に、閉山の危機に直面した炭鉱の町を救うため、フラダンサーを目指した女性たちの実話をもとに描かれています。
現在のスパリゾートハワイアンズが誕生するまでの物語です。

脚本・演出を務める羽原大介さんは、映画「フラガール」の脚本にも携わり、連続テレビ小説「マッサン」「ちむどんどん」、劇場版「トリリオンゲーム」など、多くの作品を手掛けてこられた脚本家・演出家です。

女性が今よりも自由に生きることが難しかった昭和という時代。故郷を守るため、新しいことに挑戦する女性たち。そして、炭鉱夫として家族や故郷を支え続けてきた男性たち。それぞれが時代の変化に戸惑い、葛藤しながらも前を向いて歩いていく姿が描かれています。人を想うことの強さや優しさ、そして一歩踏み出す勇気を、きくと感じいただける作品です。



【自己紹介】

初めまして！

今回、主演を務めさせていただく
杉並学院高校卒業生の十河菜由と申します。

4年ほど前に苗字が変わったので、先生方には「小林菜由」の名前の方が思い出していただけるかもしれません。

この度、自分の母校の芸術鑑賞会に出演者として関わることができ、本当に嬉しく思っています。

在学中は、山崎先生、関根先生、山口（浩）先生に担任をしていただき、他にもたくさんの先生方にお世話になりました。内申のために入った生徒会も、思った以上に楽しくて内申なんて関係なくとても良い思い出です。

今も充実した毎日を過ごしていますが、これまでの人生で唯一、高校時代だけはもう一度戻りたいと思えるほど充実した毎日でした。

卒業後は東京女子大学に進学し、コロナ禍を経て大学4年生のときに役者の道へ進みました。

高校1年生の頃に数学を教えてくださいました栗原先生が、卒業後も私の出演する舞台に何度も足を運んでくださり、今回「フラガール」で主演を務めることになった際、「杉並学院の芸術鑑賞会で公演できませんか」とダメ元で相談したところ、担当の先生方に掛け合ってくださいました。そのおかげで今回の公演が実現しました。
栗原先生、新田先生、山口（崇）先生、本当にありがとうございます。



約2時間の上演となります。

テスト明けでお疲れの方も多いと思いますが、最後まで楽しんでご覧いただけたら嬉しいです！

